

新井中央小だより

ホームページ <http://myoko.schoolweb.ne.jp/15020005>メールアドレス myoko.araichuou-ed@edu-niigata.ed.jp

No. 305

2025 (令和7) 年5月19日

「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」につながる社会性の育成

全ての児童が、合い言葉「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」と実感する学校にするために、社会性を育成することは重要です。社会性には、自己有用感、規範意識、人間関係能力、他者と共に問題を解決する力などが挙げられます。この社会性が育っていけば、明るい気持ち、喜びを感じやすくなると思うからです。

この中で、規範意識の醸成が重要と考えます。「規範意識」という言葉を聞くと、きまりを必ず守るような堅いイメージを受けますが、そうではありません。集団としての子どもたちが気持ちよく楽しく学校生活を送るための「規範意識」です。学級等の集団が規範意識をもたず自分勝手な行動をしていくと、子どもたちは、正しいことが通らずに、不快な思いが生じ、ストレスがたまり、表情がこわばり、学級や学校に行きたくないという気持ちも芽生えていきます。反対に、集団に規範意識が育っていると、安心し、表情も和らぎ、挑戦意欲も沸きます。規範意識を醸成するために、まず、やってはいけないことを学校でも、家庭でもきちんと教えることが必要です。

「人に対する暴力、体を傷つける行為、暴言、からかい、怒らせるような言葉掛け、頑張っている人の邪魔」などは、絶対にやめさせなければなりません。また、活動や学習に対して集中できるように、持ち物の準備、時間などを守ること、あいさつをしっかりすることも重要です。さらに、むやみに人を否定しないことも大切です。少数派（マイノリティ）の人や自分と違うからという理由で人を否定したり、仲間外しをしたりすることもやめさせなければいけません。日常の生活の中で、きちんとできるまで指導することです。大人の主導的な色合いが強く、何となく厳しさを感じるかもしれませんが、子どもたちは、安心安全で居心地のよさを求めるために、大人に集団としての規範意識をしっかりと育ててほしいと願っているのかもしれません。

もちろん、新井中央小学校は人権教育、同和教育を柱として教育活動を展開していますので、「なかま」の時間の学習が、「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」の基盤になります。さらに、実践の場として、なかよし班活動があります。この活動は全ての学年で構成され、班内で発達段階に応じた役割が与えられること、異学年の子ども同士で関わる場面があること、問題を解決する場面があること、振り返りや感謝の気持ちを伝え合うことができること、「きらりカード」を用いて自分や友だちの良さやがんばりを見つけことができること等が効果として期待されます。今週のなかよし遠足、なかよし班遊び、清掃などを通し、1年間かけ社会性を育んでいきます。

令和7年度コミュニティ・スクール学校運営協議会

4月28日(月)にコミュニティ・スクール学校運営協議会(CS)を開催いたしました。コミュニティ・スクールは地域の方から学校運営に参画いただき、ご提言やご協力をいただきながら、地域と共に歩む学校づくりを目指す取組です。平野会長からは、地域が学校を支えることの大切さについてご挨拶をいただきました。

その後、学校運営基本方針説明(校長)、委員の委嘱、組織の確認、活動計画協議などを行い、後半は、各学年の生活科・総合的な学習の時間の説明、「さくらフェスティバル」(地域を学ぶ会)の計画について、CSの取組等について情報交換できました。いただいたご意見をもとに「社会に開かれた教育課程」に改善できるよう努力して参ります。

○さくらフェスティバル: 6月13日(金) …1~4限授業、給食あり、4限放課、5限:ディスカッション

CS委員の皆様から各学年の活動に対して内容や地域にある様々な社会・自然・歴史事象(地域教材)、専門家、活動協力者等についてアドバイスいただきました。ありがとうございました。